

令和3年度 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	学年	第3学年	学 科 類	商業科
単位数	2単位	教科書	改訂 新編化学基礎 (東京書籍)				
副教材	基本 ステップノート化学基礎 (浜島書店)						

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
------	---

キャリア教育の視点	化学が物質を対象とする学問であり、人間生活に重要な役割を果たしていることを理解するとともに、観察、実験などを通して物質を探究する方法の基礎を身に付けます。また、物質について微視的な見方ができるようにし、化学反応に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて知識を深めます。
-----------	---

		学習計画及び内容	考 査
1 学 期	4月	序章 化学と人間生活 第1編 物質の構成 第1章 物質の成分と構成元素 1 物質の成分 2 物質の構成元素	中間 考 査
	5月	3 物質の三態 第2章 原子の構造と元素の周期表 1 原子の構造 2 電子配置と周期表	
	6月	第3章 化学結合 1 イオンとイオン結合 2 分子と共有結合 3 金属と金属結合 4 化学結合と物質の分類	
	7月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質	
2 学 期	8月	3 溶液の濃度	中間 考 査
	9月	4 化学反応式とその量的関係	
	10月	第2章 酸と塩基 1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液のpH 3 中和反応と塩 4 中和滴定	
	11月	第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応	
3 学 期	12月	4 酸化還元反応の利用	期 末 考 査
	1月		
	2月 3月		

学習の方法	日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を身に付けましょう。 疑問に思ったことを確かめてみようという態度を身に付けましょう。 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けましょう。 上記のことを意識して授業を受け、予習・復習を通して学習内容の定着に努めましょう。
-------	---

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、実験レポート・課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。
-------	---

備考	
----	--